



平成 19 年 4 月 25 日

各 位

会 社 名        オリンパス株式会社  
代表者名        取締役社長 菊川 剛  
                    (コード番号 7733 東証・大証第 1 部)  
問合せ先        経理部長 川又 洋伸  
                    (TEL. 03-3340-2111(代))

### 当社子会社（I T X株式会社）業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、当社子会社である I T X株式会社（ヘラクレス・コード番号 2725）が平成 19 年 2 月 5 日に公表しました平成 19 年 3 月期通期業績予想を別途資料のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、当社の連結業績については現在集計中でありますので、確定次第発表いたします。

以 上

平成19年4月25日

各 位

所在地 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号  
 会社名 ITX株式会社  
 代表者の役職名 代表取締役社長 武居 哲彦  
 (コード番号: 2725)  
 問い合わせ先  
 責任者役職名 取締役業務本部長 半澤 彰一  
 電話番号 03 ( 4288 ) 7161

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年2月5日に公表致しました平成19年3月期通期業績予想を下記のとおり修正致しましたので、お知らせ致します。

記

#### 1. 平成19年3月期 連結業績予想の修正 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	339,000	5,000	1,300
今回修正予想(B)	330,313	1,994	1,750
増減額(B-A)	8,687	3,006	3,050
増減率(%)	2.6%	60.1%	-
前期実績(平成18年3月期)	346,855	1,967	1,317

#### 2. 平成19年3月期 個別業績予想の修正 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	12,700	3,500	3,000
今回修正予想(B)	4,760	1,786	1,782
増減額(B-A)	7,940	1,714	1,218
増減率(%)	62.5%	49.0%	40.6%
前期実績(平成18年3月期)	56,048	2,076	629

&lt; 修正理由 &gt;

個別(単体)の投資育成株式の売却の未達成を主要因として、連結・単体ともに売上高、経常利益、当期純利益が、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

連結業績は、収益内容別において、携帯電話販売事業、医療事業、自動車アフターマーケット事業を中心とした機器販売・サービスは堅調に推移し、機器販売・サービス営業利益は予想比1億40百万円増の18億40百万円(前期比18億20百万円増)の見込みとなりました。一方、投資育成営業利益は予想比33億57百万円減の9億43百万円(前期比19億41百万円減)の見込みとなり、営業利益全体としては予想比32億16百万円減の27億84百万円(前期比1億21百万円減)にとどまる見込みとなりました。これらにより、経常利益19億94百万円、当期純損失17億50百万円の見込みとなりました。

個別業績につきましては、投資育成株式の売却の未達成により、売上高は予想比 79 億 40 百万円減の 47 億 60 百万円、営業利益は 43 億 87 百万円減の営業損失 9 億 87 百万円の見込みとなりました。経常利益は、受取配当金の増加はあったものの予想比 17 億 14 百万円減の 17 億 86 百万円の見込みとなりました。また、当期純利益は、特別損失の縮小はあったものの当初予想比 12 億 18 百万円減の 17 億 82 百万円の見込みとなりました。

\* 前記の業績予想は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動等により、実際の業績は、本資料における見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。

### 3. 経営責任の明確化

業績悪化に対する経営責任を明確化させるために、下記のとおり役員報酬カットを実施致します。報酬カットの期間

6ヶ月間

報酬カットの割合

代表取締役 30%

常勤取締役 10～25%

### 4. 今後の対策

当社は、平成 19 年 3 月期より展開している 3 ヵ年中期経営計画『06 経営基本計画』において、「事業育成のプロフェッショナル集団としてのブランドの確立」を経営目標とし、複数の子会社の株式上場の実現、業績目標の達成、当社の東証上場に取り組んでまいりました。

全社戦略である「安定的な連結事業収益基盤の構築」は、携帯電話販売事業、医療事業、自動車アフターマーケット事業のコア 3 事業を中心に、着実に進みつつあります。しかしながら、今回の業績予想の下方修正を踏まえ、『06 経営基本計画』に施策の追加および一部修正を行い、数値目標についても修正を検討中です。尚、詳細につきましては、平成 19 年 5 月 8 日に、平成 19 年 3 月期決算短信とあわせて発表させていただきます。

今後、修正計画を確実に達成することにより、株主の皆様をはじめとするステークホルダーの方々からの信頼回復に努めてまいります。

〔『06 経営基本計画』の見直しの骨子〕

「安定的な連結事業収益基盤の構築」の更なる強化

- 1) 事業領域の選択と集中～ポートフォリオの入替え
- 2) 既存事業の成長を加速させる投資の実行
- 3) 連結経営管理の強化

「単体における投資サイクル」の加速

- 1) 既存投資の回収強化
- 2) 投資ルールの見直し（回収期間の短縮）による、新規優良案件への積極的投資
- 3) CVC（コーポレート・ベンチャー・キャピタル）投資の機能強化

以 上